

②⊕⊖の向きに注意して電池を装着します。

注意 電池の使用上の注意

- 電池の使い方を誤ると、電池の漏液、発熱、破裂、ケガや機器の故障の原因になるので、次のことを必ず守ってください。
- ⊕⊖の向きを正しく装着してください。
- 使い切ったとき、長期間使用しないときは、電池を取り外してください。
- 新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池の注意書きをよくお読みください。



③電池フタを閉めます。

注意

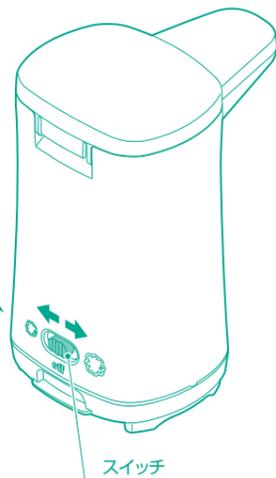
電池フタは確実に閉めてください。本体内に水や液剤が入ると故障の原因になります。



電源の入れ方

吐出したい量に合わせて、スイッチを“約2mL吐出”“約3mL吐出”のどちらかにスライドします。

スイッチの位置	吐出状態
	吐出しない (電源OFF)
	約2mL吐出
	約3mL吐出



専用液剤

商品名	内容量
手洗い用石けん液 [医薬部外品]	220mL
ウォッシュボンスフォーム	500mL
	2kg
	5kg
野菜食器用洗剤	
ヤシノミ洗剤 泡タイプ	500mL

ウォッシュボンスフォーム220mL、500mLとヤシノミ洗剤 泡タイプ500mLは、サラヤ公式通販で購入いただけます。

<http://shizenha.saraya.com/elefoam/>

注意

- 上記の専用液剤以外をご使用になると、故障の原因になり保証できません。
- 液剤は付属していません。別途お買い求めください。
- 液剤を変更する場合は、必ずタンク内の液剤を空にして、タンク・配管内を清掃してください。※「タンク、配管内の清掃」(P15～P18)を参照。

液剤の補充

注意 液剤交換時のご注意
必ず専用液剤をご使用ください。

①スイッチが「OFF」になっていることを確認します。



②フタを開けます。

③キャップを取り外します。



④液剤を補充します。

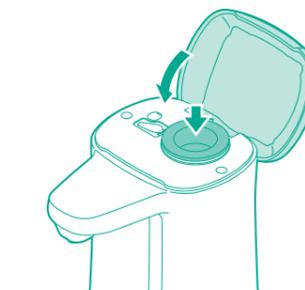
注意

- タンク容量は約220mLです。大容量ボトル(2kg、5kg)から補充する場合は、カップなどに必要量を小分けにした上で、付属のろうとを使用して補充してください。
- カップは付属していません。
- 液剤を補充するときは、図Aのフチを超えないでください。
- 液剤はゆっくりと補充してください。液剤があふれて、万が一本体内部に入ると、故障の恐れがあります。



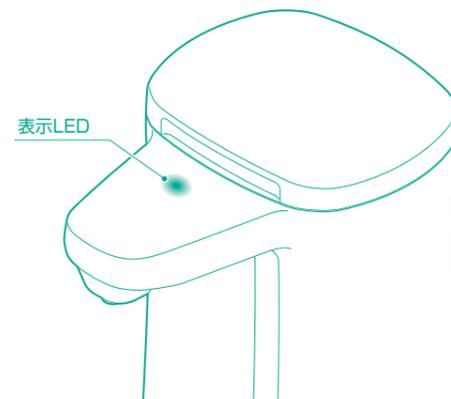
⑤キャップを取り付けます。

⑥フタを閉めます。



表示LEDの説明

表示	説明
緑色点灯	“吐出時” 液剤を吐出するときに点灯します。
緑色点滅	“電池切れ予告” 電池の残量が少ないことをお知らせしています。
赤色点滅	“電池切れ” 電池の残量がないことをお知らせしています。新しい電池と交換してください。
緑/赤色交互点滅	“センサー異常” 汚れや障害物、周囲の光などを検知し続け、動作しません。原因を解消してください。(P20「故障かな?と思ったら」参照)

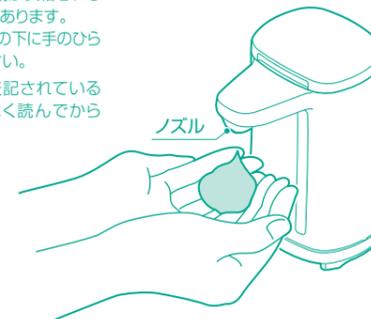


液剤の吐出

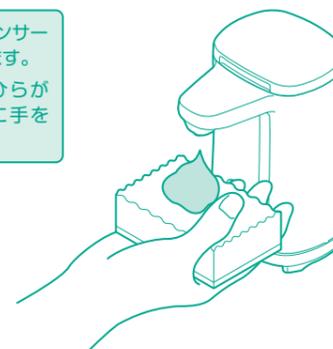
ノズルの下に手のひら、またはスポンジを差し出します。
⇒ノズルから液剤を吐出します。

注意

- 初回運転時は、配管内に液剤が供給されるまで数回動作させる必要があります。液剤を吐出するまで、ノズルの下に手のひらを繰り返し差し出してください。
- 液剤については、液剤に表記されている「使用上の注意」などをよく読んでから使用してください。



スポンジの種類によってはセンサーが反応しにくいものがあります。このような場合は、手のひらがスポンジの下になるように手を差し出してください。



本体の清掃

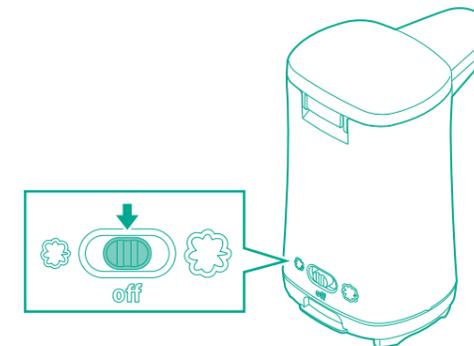
本製品を末永くお使いいただくため、定期的にお手入れをしてください。お手入れのときは、必ずスイッチを「OFF」にして電源が切れていることを確認してください。

汚れは乾いた布で拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。そのあと、水で濡らしてよく絞った布で洗剤を拭き取り、乾いた布で拭いてください。

注意

- やわらかい布を使用してください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。
- 次のものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・中性洗剤以外の洗剤類・熱湯・酸・アルカリ・たわしなど



タンク、配管内の清掃

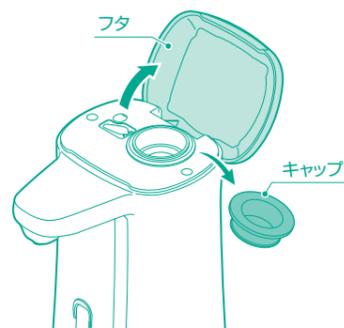
長期間使用しない場合はタンク・配管内を水洗いしてください。

1 タンクの清掃

①スイッチが「OFF」になっていることを確認します。

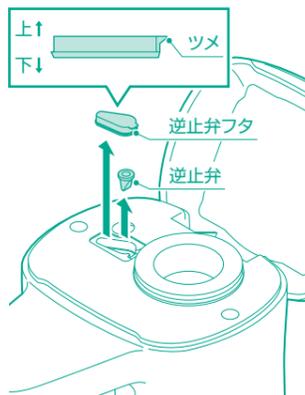
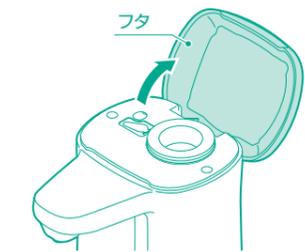
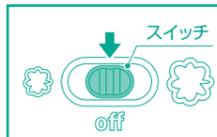


②フタを開けます。
③キャップを取り外します。



泡の状態が悪いときの対処法

①スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
②フタを開けます。
③逆止弁フタを取り外します。
④逆止弁を取り外します。
⑤逆止弁を水洗いし、ゴミなどを取り除きます。
⑥良く乾かしてから、逆止弁を取り付けます。
⑦逆止弁フタを取り付けます。
⑧液剤を吐出させ、泡の状態を確認します。
⑨正常に吐出することを確認できたら、フタを閉め、完了です。



注意

- 逆止弁フタ・逆止弁は小さい部品のため、紛失や取り扱い、乳幼児の誤飲に注意してください。
- 逆止弁フタ・逆止弁の取り外しには、小型のマイナスドライバーなどを使用してください。
- 逆止弁フタ・逆止弁は、傷付けないように注意してください。
- 逆止弁フタ・逆止弁は、確実に取り付けてください。
- 逆止弁フタを取り付けるときは向きに注意してください。
ツメのあるほうが上です。

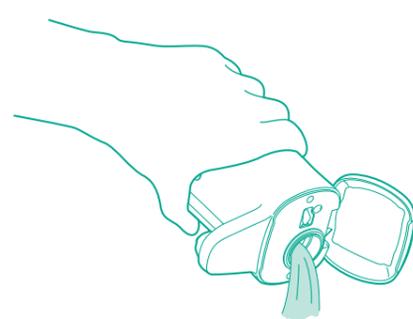
④タンクの半分程度まで、ぬるま湯（または水）を入れます。

注意

- お湯を扱う際は、やけどをしないように注意してください。
- ぬるま湯を入れるときは、付属のろうとを使用してください。

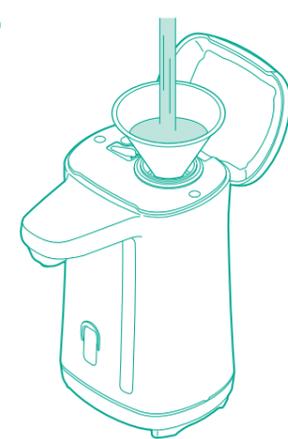


⑤軽くゆすって、ぬるま湯を捨てます。
⑥数回繰り返して、タンク内の液剤を洗い流します。

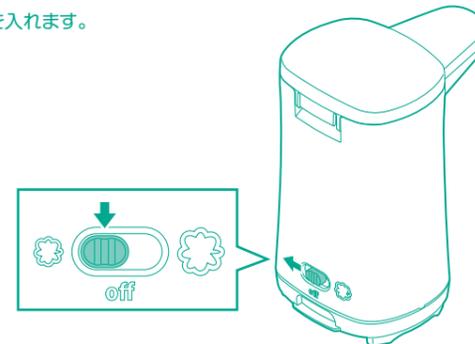


2 配管内の清掃

①タンクの1/5程度まで、ぬるま湯（または水）を入れます。



②電源を入れます。



③センサー前に手のひらを差し出します。
→ぬるま湯が1回吐出します。
④そのままセンサー前に手のひらを差し出した状態で待ちます。
→5秒後に連続吐出を行います。

注意

- 連続吐出は、最大30秒間です。
- 連続吐出は、途中で手を引くと停止します。
- 連続吐出は、電源を入れた直後、1回のみ動作可能です。再度連続吐出を行う場合は、電源を入れ直してください。

⑤スイッチを「OFF」にします。

⑥「①」～「⑤」の清掃を数回繰り返します。
⑦タンク内のぬるま湯を出し切ります。
⑧タンク内の水気を切り、よく乾かします。

⑨キャップを取り付けます。
⑩フタを閉め、清掃完了です。



お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご相談いただく前に、次の点検を行ってください。

症状	原因	対処方法	ページ
正常に運転しないとき	電池切れ (表示LED:赤色点滅)	新しい電池に交換する	6
	電池の向きが正しくない	正しい向きで電池を入れる	6
	センサー異常 (表示LED:緑/赤色交互点滅) 汚れや障害物、周囲の光などを検知し続けている など	●センサー部を清掃する ●障害物を取り除く ●設置場所・方向を変える	4,14 5 5
液剤を吐出しないうち	液剤切れ	液剤を補充する	9
	スイッチが「OFF」になっている	スイッチを「約2mL吐出」か「約3mL吐出」にする	11
泡の状態が悪いとき	電池容量が減っている (表示LED:緑色点滅)	新しい電池に交換する	6
	逆止弁が汚れている	逆止弁の汚れを取り除く	19

上記の点検を行っても直らないときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。

項目	内容
名称	ノータッチ式ディスペンサー ELEFOAM Pot
型式	UD-6500F
外形寸法	W96 × D78 × H165 mm ※ノズル部130mm (小数点以下切り上げ)
製品質量	約360g (梱包、付属品、電池、液剤は除く)
主な材質	本体ケース、フタ、電池ケース : ABS
電源	単3アルカリ乾電池×4本
使用環境温度	5~40℃ (液剤に適切な流動性が保たれていること)
使用環境湿度	20~85% (結露なきこと)
使用液剤	●ウォッシュボンSフォーム ●ヤシノミ洗剤 泡タイプ
容量	220mL
吐出量	約2mL/回 または 約3mL/回

本仕様は性能向上のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

保証について

●裏表紙に保証書が付いています。
保証書の内容をご確認いただき必要事項をご記入のうえ、大切に保管してください。

●保証期間はご購入の日から1年間です。
なお、保証期間中でも無料保証できないことがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の対応については、お買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

アフターサービスについて

●アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店または当社「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
※故障の場合は「ご購入日」「本製品の型式」「できるだけ詳しい故障状態」をお知らせください。